

地形の部 地理・地学の比較 (高校)

長崎南高 藤田 光

新版 地理 中教出版による

1. § 1 生活の舞台としての地形
 1. 地球の表面
 - (1) 大地形と小地形 (2) 水陸の分布
 - (3) 大陸の水平肢節と垂直肢節
 2. 世界の山地と平野
 - (1) 世界の山地
 - アルプスニヒマラヤ造山帯 ○ 環太平洋造山帯 ○ 古期造山帯 ○ 幼年, 壮年, 老年期 ○ 準平原
 - (2) 火山地形
 - 環太平洋火山帯 ○ 円錐火山 ○ 溶岩円頂丘 ○ 楕状地
 - (3) 台地
 - カナダ楕状地 ○ バルト楕状地 ○ 洪積台地 ○ 隆起三角州 ○ 開析扇状地
 - 海岸段丘 ○ 河岸段丘 ○ 関東ローム層
 - (4) 平野
 - 沖積平野 ○ 扇状地 ○ 三角州
 - 海岸平野 ○ 構造平野
 - (5) 盆地
 - 内陸盆地 ○ 被圧地下水 ○ 鑽井盆地
 - 地溝盆地
 - (6) 海岸地形
 - 沈水海岸 ○ 離水海岸 ○ 溺れ谷
 - リアス式海岸 ○ 三角江 ○ フィヨルド ○ 沿海州 ○ 瀉湖 ○ 海岩砂丘
 - 隆起海食台
 - (7) 氷食地形
 - 圈谷 ○ 氷食谷 ○ 氷堆石 ○ 乾燥盆地 ○ 砂漠 ○ カルスト地形

科学の世界 地学 新編 清水書院による

- III 地層の観察と地質調査
 - § 6 造山運動と造陸運動
 - 褶曲山脈 ○ 地向斜 ○ 造山帯 ○ 安定帯
 - II § 5 自然界における水の大循環と地形の変化
 - 浸食の輪廻として幼, 壮, 老年期の地形変化を考える ○ 幼, 壮, 老年期 ○ 準平原

◎火山地形については, 多くの教科書がマグマの活動と火山作用の項において述べているが詳しくはない。三省堂 地学 改訂版においては, 火山と温泉の項で比較的詳しい。
 - II § 4 海水の作用
 - 海食地形 ○ 沿岸流による地形
 - II § 2 ○ 大陸氷河 ○ 谷氷河 ○ 氷食
 - カール ○ 氷竪粘土 ○ カレンフェルト
 - ドリーネ ○ しょう乳洞

3. 世界の海洋と陸水

(1) 海洋と島

- 大洋 ○ 付属海 ○ 陸島 ○ 洋島

(2) 海底地形

- 大陸棚 ○ 大陸斜面 ○ 大洋底
○ 深淵 ○ 浅堆

(3) 海流と潮流

- 赤道海流 ○ 赤道半流 ○ 黒潮 ○ 親潮
○ メキシコ湾流 ○ ラブラドル海流
○ 潮境 ○ 潮目

(4) 陸水

- 陸水 ○ 地表水 ○ 温泉 ○ 鉱泉
○ 河川流量 ○ 湖沼

4. 世界の土壌帯

(1) 土壌と気候 (2) 主な土壌帯

- ツンドラ土壌 ○ ボドゾルと褐色森林土
○ 赤色土とラテライト ○ 黒色土
○ 栗色土 ○ レンジナ ○ ララロッサ

§ 2 環境としての気候 (堀口氏の報告資料)

§ 3 日本の自然環境

1. 日本の地形

- 日本の地帯構造図 (山下昇氏による)
○ フォッサマグナ ○ 中央構造線
○ 日本の地形特色についての解説

1. § 1 地かくの表面

- 大陸棚 ○ 大陸斜面 ○ 大洋底 ○ 海溝
○ 風食 ○ 風成層 ○ 砂丘

II § 3 海水の運動

- 水塊 ○ 潮境 ○ 潮目 ○ 塩水 ○ かん水
○ 海水の大循環 ○ T S 図 ○ 日本近海の海流

II 水の作用と地形の変化

§ 1 陸水の運動

- 流域 ○ 分水界 ○ 河川の三大作用
○ 三角州 ○ 扇状地 ○ 沖積平野 ○ 湖沼
水の作用

1. 地かくの構成物質

§ 4 たい積作用とたい積岩 風化と土壌

- 酸性土壌 ○ アルカリ土壌

高等学校学習指導要領解説 社会編 より抜粋

“陸地・海洋の位置と形については、緯度的位置、大陸相互の関係的位置など、また形状には、海、陸の垂直的分布などを含めて、いずれも人類の生活に影響している面にもふれる。平地・山地、海洋・陸水などは地形の成因や、形態的分類には深入りせず、人類の生活と関連の深い特色ある自然の地域的差異をとりあげることが望ましい。”